

佐藤 格夫 救急航空医療学 新教授インタビュー ～ドクターヘリを活かした、一步先の愛媛の救急医療体制の構築～

新任教授としての私の使命は、ドクターヘリを活用しながら、愛媛県全体の救急医療の連携をサポートしていくことだと考えています。ドクターヘリの活用には、愛媛県の各地域の病院の医療関係者、消防などの行政機関との連携が不可欠で、顔の見える関係を築くことが重要です。特に交通事故などの現場では、地元の消防、救急隊が、これは重症かもしれないと察知して、いち早くドクターヘリを要請することが必要です。一人でも多くの傷病者がドクターヘリの恩恵を受けられるように連携をとっていききたいと思います。

救急医療というと、救急医の医療と思われがちですが、どの診療科の医師も自分の患者が急変し、救急患者になるケースがあります。つまり、多くの医療関係者に救急医療やドクターヘリを理解してもらいたいと考えています。愛媛大学ということで研修医や学生等を含めた若手には、救急医療について理解してもらい、将来、愛媛県の色々な地域で活躍、急変時対応、また適切にドクターヘリを活用してもらえるよう指導していきます。そのような若者の中から愛媛県に不足している救急医を選択し、フライトドクター・フライトナースになってくれる人が現れることを夢見ています。

オール愛媛で愛媛県の救急医療・地域医療がより良くなるように努めていきます。是非ご協力をお願いします。



インタビューに答える佐藤教授